

戦死証明書

一、戦死者本籍地

戸主名綴柄

戸主

氏名

保友

年 月 日生

198-61

二、所属

連隊名 派遣地 第 部 隊

三、戦死者徵集年 年 役 兵 兵 死亡前官等 陸 昭和 年 月 日

四、戦死年月日時刻及場所

五、戦死現露ノ程

六、遺骨歸還ノ有無

七、戦死當時ノ状況ノ概要

八、死亡区分

九、其ノ他

一〇、遺族ノ現住所

氏名

右ノ通り戦死セラレタルコトヲ證明候也

昭和 年 月 日

証明者住所

戦死者トノ關係

所属部隊名

氏名

市町村長證明箇所

事實證明書

本籍地

現住所

所屬部隊 榮町三上五站病院 (城之九六都落)

昭和七年一補 衛生兵 官等級 兵七等 衛生兵曹上等兵

氏名

生年月日

留營者

住居

妻

出陣後年月日

昭和九年十月十八日 宇呂港 出陣

散兵到着年月日

昭和九年十月二十一日 宇呂港 到着

勤務概要

昭和九年十月二十一日 宇呂港三上五站病院 (城之九六都落) 飛行場勤務 衛生兵曹上等兵

罹害後年月日

罹害場所(場所)

罹害原因(原因)

罹害時(時間)

死亡年月日時刻

昭和三年三月十六日 上時

死亡場所

比島山ノ島ニシテ飛行場四方深山

死亡区分

戦死

死時状況

昭和三年三月十六日 飛行場四方深山 敵機攻撃に遭ヒテ死亡ス

右證明書

昭和三年三月三日

本籍地

所屬部隊 榮町三上五站病院 (城之九六都落)

昭和四年四月二十三日

事實(現認)證明書

所屬部隊

固有部隊名 第五方面軍 第十師團 周成隊
通稱(別名) 高武一五四五

官階(名)(死亡前)

中尉

本籍地
現住所

右ノ者昭和四年 五月十八日 〇時 〇分

於テ 死シタルコトヲ證明ス

昭和四年四月二十三日

固有部隊名 第十師團 司令部

官階(名) 中尉

本籍地

陸軍中尉

知
知
知
知

現認書

本籍地

所属部隊 比島派遣第一〇六四部隊

官名 陸軍曹長

右の者昭和三十年三月十七日午後五時比島ルノ島南部ホソボソレ於て大
腿部に迫撃砲弾破片創を受け同月十八日午後五時戦死せり
右現認す

現認者住所

所属部隊 比島派遣第一〇六四部隊

官等区名 陸軍伍長

地方世話部

20-10

517



死者之者

証分
証亡者(生死不明者)ニ関スル證明書
証事

水島地

新築新隊

官立陸軍

名

昭和三十二年六月十九日

比島ハナイ島

戦一死

昭和三十二年六月十九日

死状

昭和三十二年六月十九日米軍上陸、彈藥不足、命に依り山岳等
に退避し、米軍の射撃に耐えられず、敵砲隊の下に連行され、
石壁の下に戦死した。享年二十一歳。遺族は、
全名 戦死した。9

遺住所

父

確度

山岳地帯... 遺骨遺留

遺骨遺留
右。様々状況の遺骨遺留等は少し

戦友

水之南

右之遺骨遺留無之候也

昭和五五三三

一、赤嶺地
二、瑞石所

三、瑞石所
第四十二教育飛行隊

官代大陸軍兵長

號

戰時死亡者現認ニ關スル件報告

昭和二十一年二月五日

地方世話部長

留守業務部長殿

歸還軍人ニ濃ル首題ノ件左記通り報告ス

追示 本件ハ左記現認者ノ申出ニ依リ調製シタルモノニシテ當部ニ於テ公報等處理シアラサルニ付爲念

死	七	事由	認 察 役 控	官 等 級	氏 名	本 籍 地
所屬部隊	場 所	由	番 別	官 等 級	氏 名	本 籍 地
比島派遣 隊第一六八部隊	昭二 三月 一九日	戰死	大 隊 兵 隊	官 等 級	氏 名	本 籍 地
	カバツ 飛行場		予 備 長	共 長	[Redacted]	[Redacted]
	カバツ 飛行場		予 備 長	共 長	[Redacted]	[Redacted]

右現認ス

現任所 所属部隊 威岩(一六八部隊)第三教育飛行隊

官等級 少中尉 陸軍少中尉

1.2.14
20443

15-12

昭和三十一年六月

地方世話部 死亡者 認定査票

昭和三十一年

所屬部隊名 四行名 獨立機関銃五五大隊 通稱名 威五七六六

職階 地 兵 歩 前亡死 後亡死 中尉 氏

年 職 種 兵 種 兵 種 兵 種 兵 種 兵 種 兵

死亡年月日時 昭 20. 3. 19. 11.00 死亡場所 ルソン島イボ一帯南方アサトトモ

死亡區分 戦死 傷病名 左胸部向大腿部礮彈破片創

現住所 妻 氏名

當番兵死体埋葬處理ス 遺骨アリ

現認者

陸軍一等兵



決 判 戦死 中尉進級 印 檢 点 總立進級告知記録

戦(病)死証明書

昭和 年 月 日

式 第 号

頁

日

氏名	生年	死亡年月日	死亡原因	戦況の概要	戦時中の状況	戦(病)死の理由	戦時中の勤務	戦時中の健康	戦時中の生活	戦時中の家族	戦時中の財産	戦時中のその他
[Redacted]	[Redacted]	昭和十一年三月十九日	戦死

市町村長の證明

署名

印

...

...

...

戰死證明書

25-11

一、戰死者本籍地

戶生名原柄 戸上 [redacted] 孫

氏名 [redacted] 年 [redacted] 月 [redacted] 日生

二、所屬部隊

比島 派遣 第一 部隊 天保本和通信班

三、戰死者最末年 七年 役 兵種 兵 死に前官等 陸軍一等兵 昭和九年十二月一日

四、戰死年月日時及場所 昭和二十一年一月十九日午後一時頃 阿比多山 阿比多山 阿比多山 阿比多山

五、戰死現認ノ程度 確信

六、遺骨歸還ノ有無 無

七、戰死當時ノ状況ノ概要

砲撃中、掩蔽所に居り、敵の砲撃に遭ひ、全身に砲弾が浴び、戦死したと認められた。

八、死亡區分 戦死 事由 砲撃 發病年月日 昭和 年 月 日

九、其ノ他 (上陸後、疾病に罹り、戦死したと認められた) 申立済みの上陸年月日及上陸地

一〇、遺族ノ現在所

戦死者ト、原柄 女

氏名 [redacted]

右ノ通り戰死セラレタルコトヲ證明候也

昭和二十一年十二月 日

證明者 住所

原柄 女 阿比多山 阿比多山 阿比多山 阿比多山

所屬部隊名 天保本和通信班

氏名 [redacted] 印

市町村長證明箇所

加藤 市 長 證明 箇所

昭和二十一年十二月 日



戦死証明書

一、戦死者本籍地

[Redacted]

戸主名 **戸主 孝久**

氏名 **[Redacted]** 年 **[Redacted]** 月 **[Redacted]** 日生

49-11

二、所属部隊名

比島派遣 **振武連隊** **[Redacted]** **[Redacted]**

三、戦死者役年 **大正** 年 **十** 月 **九** 日 役種 **兵** 死因 **前線** 昭和 **二** 年 **十** 月 **九** 日

四、戦死年月日時及場所 **大正十一年十月九日 比島**

五、戦死現認ノ程度 **確象**

六、遺骨跡遺ノ有無 **無**

七、戦死當時ノ状況ノ概要
砲撃ニ被撃シテ身死ス。所有軍ニ向テ大敵本部危険ヲ察シテ之ヲ告グ。

八、死亡區分 **戦死** 事由 **全身銃弾** 發病年月日 昭和 **二** 年 **十** 月 **九** 日

九、其ノ他 (存続ニ付シテ死亡者ニ依リ申立テ、軍醫證明書ヲ受ケ、又ハ不明死入等ニ入リ) **申立** 昭和 **二** 年 **十** 月 **九** 日

十、遺族ノ現住所
[Redacted]

戦死者トノ關係 **妻**

氏名 **[Redacted]**

右ノ通り戦死セラレタルコトヲ證明候也

昭和 **二** 年 **十** 月 **九** 日

證明者住所 **[Redacted]**

所屬部隊名 **比島派遣 振武連隊 [Redacted]**

氏名 **[Redacted]** 印

市町村長證明箇所 **[Redacted]**

右ノ通り證明
昭和 **二** 年 **十** 月 **九** 日

524

戦死証明書

一、戦死者本籍地

戸主名 職柄 戸主

氏名

年 月 日生

50-4-1

二、所屬 比島 派 振武 軍団 兵 大隊本部 通信班

三、戦死 昭和二十年 役 重予 役 兵 糧 兵 死亡前官 等 級 陸 軍 中 尉 任 職 昭 和 年 月 日

四、戦死年月日 昭和三十二年三月十九日午後六時 比島 島 州 三 車 才 三 村 公 家

五、戦死現認 確 認

六、遺骨歸還 有 無 無

七、戦死當時ノ状況ノ概要

三ノ村 信 我 派 十 三 月 十 九 日 於 十 大 隊 大 隊 本 部 通 信 班 上 任 職 中 戦 死 した 事 由 昭 和 三 十 二 年 三 月 十 九 日 比 島 島 州 三 車 才 三 村 公 家 大 隊 本 部 通 信 班 上 任 職 中 戦 死 した 事 由 昭 和 三 十 二 年 三 月 十 九 日 比 島 島 州 三 車 才 三 村 公 家

八、死亡區分 戦 死 事 由 昭 和 三 十 二 年 三 月 十 九 日

九、其ノ他 昭和三十二年三月十九日 昭和三十二年三月十九日

可遺族ノ現在所

戦死者ノ遺柄 氏名

氏名

右ノ通り戦死セラレタルコトヲ證明候也

昭和二十一年十一月十二日

證明者住所

戦死者ノ關係

所屬部 隊 名

比島 派 振武 軍団 兵 大隊本部 通信班 官 等 級 陸 軍 中 尉 任 職 昭 和 三 十 二 年 三 月 十 九 日 比 島 島 州 三 車 才 三 村 公 家

氏名

市町村長證明箇所

印

右證明了

昭和二十一年十月十日

戰死證明書

一、戰死者本籍地

戸主名額柄 戸主 [redacted] 係者長子

姓 名 [redacted]

氏名 [redacted] 年 [redacted] 月 [redacted] 日生

70-0

二、所屬部隊名

比島派遣隊 武庫軍団 [redacted] 隊 本 [redacted] 通信班

三、戰死者徵集年

昭和二年 役種 歩兵 死亡前官等 陸軍一等兵 昭和 年 月 日

四、戰死年月日時及場所

昭和二年三月十九日午前九時頃 比島島嶼 [redacted] 東方約

五、戰死現認ノ程度

推定 不詳 岳地帯

六、遺骨歸還ノ有無

無

七、戰死當時ノ狀況ノ概要

各中隊陣地ヲ突破シ 本隊本和道ヲ三内迫攻戰ヲ三十七連發第一中隊
本和道ヲ去勢シ 宿務ノ時ニ通信班 陣地 [redacted] 中隊ヲ招集シ 不圖敵前也
食ニ飽カズ 宿務ニ候ルニ 百餘名ヲ死傷シ 敵ノ中ニ突入シ 全隊ヲ一

八、死亡區分

戰死 事由 [redacted] 發病年月日 昭和二十年三月十九日

九、其ノ他

（附註ニ於テ死亡原因 遺失ノ由 及 不明等記入） 附立書ニ於テ 上述年月日及上陸地

一〇、遺族ノ現在所

戰死者ノ親類

氏名 [redacted]

右ノ通り戰死セラレタルコトヲ證明候也

昭和二十二年 一月三十一日

證明者 住 所 [redacted]
所屬部隊名 比島派遣隊 武庫軍団 [redacted] 大隊
兵種 元一等陸軍一等兵 中隊

市町村長證明印

氏名 [redacted]

印

右ノ通り相違ナキニシテ證明ス

[redacted]

戦死証明書

一、戦死者本籍地

戸主名 戸主

氏名

年

月

日生

11-00

二、所屬部隊名

比島 派遣 振武島用 警備隊 警備隊 警備隊

三、戦死者役年

七年 昭和九年三月一日

四、戦死年月日時

昭和二十年三月十九日 山岳

五、戦死現認ノ程度

推定(肉體中死体確認不記)

六、遺骨歸還ノ有無

無

七、戦死當時ノ状況ノ概要

砲弾ニ被弾シテ進軍中ニ即座死ス。全身砲弾破片創ニ傷テマシテ防衛ヲ放棄ス。

八、死亡区分

戦死 事由 全身砲片 傷 年月日 昭和 年 月 日

九、其ノ他

不明等記入

一〇、遺族ノ現住所

死者ノ親類 美倉 久

氏名

右ノ通り戦死シラレタルコトヲ證明候也

昭和二十年十一月一日

證明者

戦死者ノ関係者

所屬部隊名 比島 派遣 振武島用 警備隊

兵種

警備隊 警備隊 警備隊

氏名

市町村長證明箇所

印

右ノ通り相違なく本ノ證明可

昭和二十年十一月一日

昭和二十一年三月十九日死亡現認證明書

官氏名印	現認者所屬	傷受(病罹)		勤務ノ概要	内地港高出 戰地到着年月日	死		留守擔當者住所 氏名	官等 氏名	役種 徵象年	所屬部隊(固有名)	本籍地	區分	事
		傷(病)名	場所			年月日時	場所							
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	陸軍上等兵 死亡前ノ官等級 死亡後ノ官等級	陸軍上等兵	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	昭和二十一年三月十九日	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	昭和二十一年三月十九日	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	昭和二十一年三月十九日	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	昭和二十一年三月十九日	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]

陸軍上等兵 部隊

昭和二十一年三月十九日

上陸復員者

現認證明書

本籍地

留守担着田者住所

氏名

同

戦死者本籍地
所属部隊

同右

歩兵第七十聯隊第五中隊

徴收年

召集年

官筆級

氏名

昭和十九年六月十八日
陸軍少佐

戦死當時一歩中隊

戦死年月日

戦死場所

戦死状況

昭和二十年三月十九日

比島ルソン島

昭和二十年三月十九日
カバル州
戦死

古現認



日本国海軍

1111. 日 日

昭和二十二年三月二十七日

步兵第七十聯隊第五中隊第三隊長

陸軍中尉

戦死現認証

威一九二六部隊

元陸軍上等兵

右ノ者昭和二十年三月二十日フィリツピン
ルソン島ニ於テ戦死セシコトヲ現認ス

昭和二十年三月二十二日

威一九二六部隊

元陸軍伍長

13-12

現認證明書

牙籍地

新

男有男 姓五 陸所等 三二 形男 [redacted] 大隊 [redacted] 隊

道辨名 威 八九 九都 陸 [redacted] 隊

昭和十一年徵集 [redacted] 隊 (昭和九年十月發令)

[redacted] 日 日生

1. 死七年月日 昭和十一年三月十日午後七時二十分頃

2. 死七場所 新死 右肩部 貫通銃創

3. 死七状況 比島呂宋島北部 プナヒヤ約十二村の地底

4. 死亡者之現認者之り内情 死亡者之現認者之り内情

本人は昭和十九年三月十一日及び同年五月九日

京都府に於て旅立認得第百三十九番 [redacted] 隊

勝頼が薄比佐殿へ八九郡を
隊に編成配属せり。少時寺に同中隊員
下あり。

四、死守前後の状況

二十一年二月二十日、中隊の重要書類携行。カ
ンカンも出発。大坂丹波に連絡の途。中隊員
十名アカン北方約十二軒の地。是に解散に
先見せしむ。新中隊の首右肩部を置

六、遺留品及遺留書類
遺留品は遺留書類
遺留品は遺留書類
遺留品は遺留書類

五、死亡に因する書類の有無
書類は無し

右五通り相違無一事を説明する

昭和二十二年六月二十七日

无所居部隊

固有名称 独立混成隊 第... 隊

通称名 第一〇九九部隊

现住所

旧名称 兼友 陸軍

一 死亡者の本籍地

二 留居者住所続後名

實父

右相違ない事を証明する

昭和二十二年七月三日

死亡事實(現認)證明書 昭和三十一年 月 日

所属 部隊	姓名	階級	氏名
通	二三四	級	不詳
不籍地			
現住所	[Redacted]		
統制	[Redacted]		
死亡年月日	昭和三十一年三月二十日		
死亡場所	[Redacted]		
死亡原因	病名 肺病		
年月日	[Redacted]		

参考資料(要の分は消した下)

死亡時自分が現認し多

一 死亡を他人が証明するに必要書類が揃っていない

一 死体埋葬(火葬)に必要書類が揃っていない

一 遺言書等。死因不明の場合に必要書類が揃っていない

一 死亡者と現認者との関係 親友 同年若

一 死亡者が自衛隊員の場合には身分証明(自衛隊員証)を提出する

一 其の他参考とするべき事項(死因不明の場合に必要書類が揃っていない)

一 死亡者及び現認者の住所が同一地区にない場合は、死亡者の住所を証明する

現認者	階級	氏名
不詳		上士

993

認

412

[Redacted]			
[Redacted]		[Redacted]	
昭和六年	現役	歩兵	[Redacted]
昭和二十年	昭和二十年三月二十日	死亡	死亡場所 [Redacted]
昭和二十年	昭和二十年三月二十日	空爆	[Redacted]
昭和二十年	昭和二十年三月二十日	上等歩兵	[Redacted]

28-10

戦死の経緯を相違なきに七を説明する。

昭和二十年三月五日

本船理 [Redacted]

現任所 [Redacted]

元所属部隊 此多波選約一二五部隊
(朝鮮第七七聯隊)

随隊氏名附 元陸軍上等歩兵 [Redacted]



死亡有調査表

姓 氏 名	性別	生年月日	死亡年月日	死亡場所	死亡原因	調査方法	備考
菅野 昭五	男	昭和10年5月20日	昭和50年3月19日	静岡県静岡市	急性心不全	病院	
菅野 昭五	男	昭和10年5月20日	昭和50年3月19日	静岡県静岡市	急性心不全	病院	
菅野 昭五	男	昭和10年5月20日	昭和50年3月19日	静岡県静岡市	急性心不全	病院	

昭和50年3月19日死亡

54-10